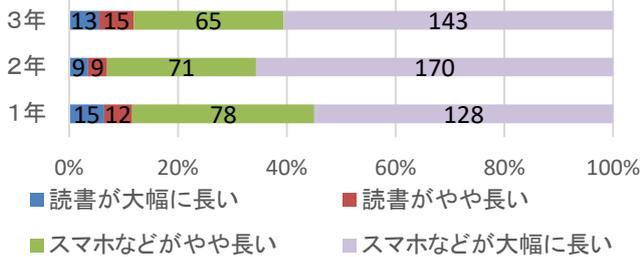


学 習

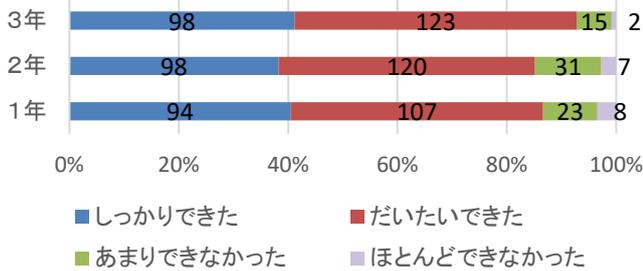
○ 対話的な活動場面を盛り込み、「わかる・できる」が実感できる授業をデザインする。

<生徒の姿①>

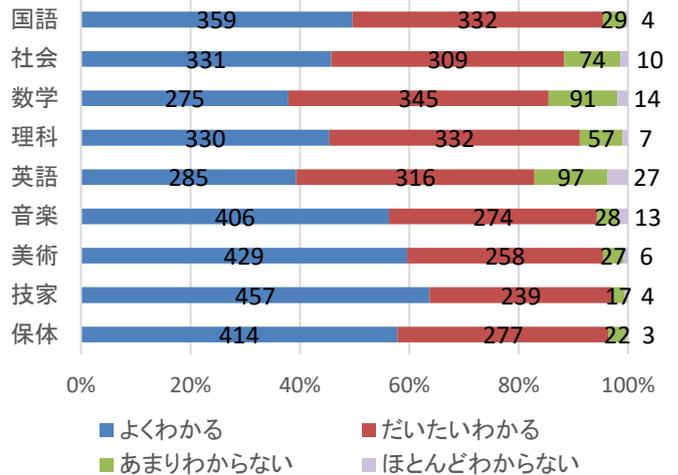
Q 読書時間とスマホなどの通信機器を利用する時間とは、どちらが長いですか。



Q あなたは、学校の課題（宿題）を期日までに提出できましたか。



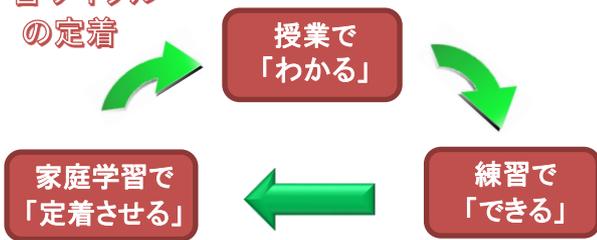
Q 授業がわかりますか。



<現状と課題>

感染症による長期休業後の学校再開でしたが、生徒の学校生活への順応はスムーズにできました。確かに家庭では、読書時間よりも圧倒的に通信機器を使用している時間が多いが目立ちますが、家庭学習にしっかりと取り組んでいる生徒が85%を超えています。これは学習サイクルの一翼である「定着させる」ことに大いに役立ちます。一方で、教科ごとに「わかる」度合いをみますと、積み上げ型の教科で課題意識を持つ生徒が多いです。中学校では数学と英語の2教科で、少人数学習を実施し、自分の進度に合わせた授業に参加して理解度を深め、克服していけるよう取り組みを行っています。

学習サイクルの定着



<今後の取組>

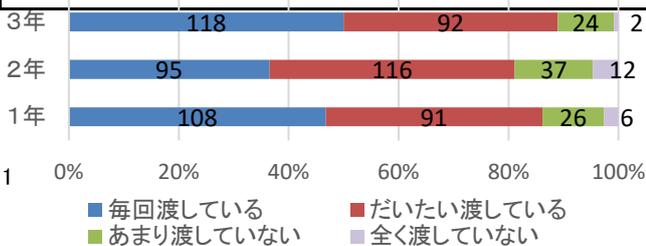
通信機器の普及などにより読書や学習時間が十分に確保されていません。利用にあたり、時間の制限など家庭でのルールを決めて、守っていくことが大切です。また、学校では、ICT機器の活用や教員の授業研究を行い、引き続き「わかる・できる」授業をデザインしていきます。授業で「わかる」、練習により「できる」、家庭学習により「定着させる」サイクルを重視して、学力の向上をはかります。また、個に応じた課題の出し方を検討して意欲を高めていきたいと思ひます。

開かれた学校

○ 様々な便り、ホームページ、学校開放等で情報を発信し、家庭・地域との連携を図る。

<生徒の姿>②

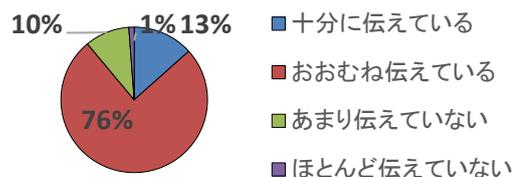
Q 学校からの便りを家族にわたしていますか？



<現状と課題>

さまざまな便りや文書を発行し、情報発信をしています。生徒を通して配布していますので、確認をしていただくとありがたいです。また、ホームページにも同様に掲載しています。学校開放については、二学期に計画したものの、実施できませんでした。

Q 学校は保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えてありますか？ 保護者アンケートより



<今後の取組>

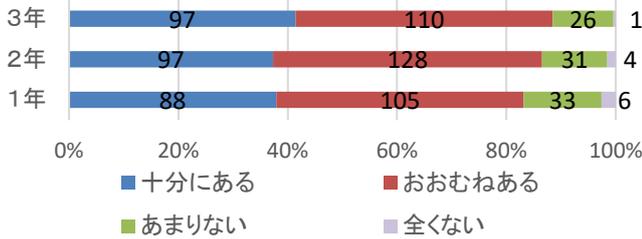
教育活動や学校の様子、進路に関する情報など、今後も積極的に便り、ホームページ等でお伝えしていきたいと思ひます。学校開放についても、行事等の機会を捉え学校の様子を直接的、間接的に見ていただけるようにしていきたいと思ひます。

生活

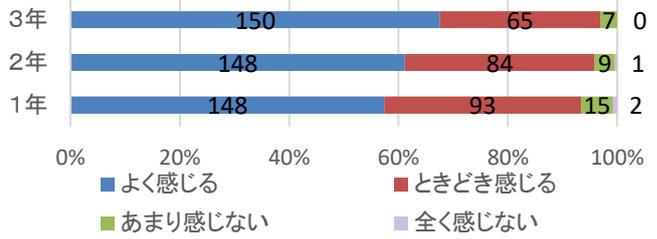
- 教室移動時における廊下や階段での安全性を確保する。
- 『春中スマホット宣言』や情報モラル教育などを通して、規則正しい生活や情報モラルについて考え、実行できる生徒を育てる。

<生徒の姿③>

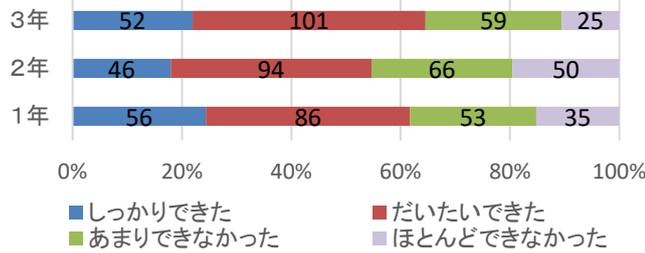
Q 学校には、あなたが主体的に活動できる場がありますか。



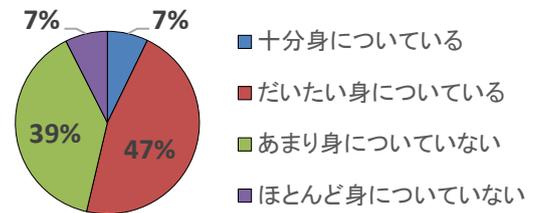
Q あなたは、学級や部活動などで友達とのつながりや連帯感を感じますか。



Q インターネットや通信機器を利用する際に、「春中スマホット宣言」や「オフタイム運動」を意識した取り組みができましたか？



Q お子さんはインターネットや通信機器を利用するときに、相手を思いやる気持ちや使用するマナーが身についていますか？



春中スマホット宣言

～心がHOTになる法度～



- 春中生としてやるべきことを先にする (勉強・手伝い)
- 夜10時以降は使用しない。
- 夜9時以降は友達と連絡を取らない
- 一日の使用時間は平日1時間まで、休日または休業日は3時間まで
- 使用している・していないに関わらず相手を思いやる
- 送信するとき、写真をネットにのせるときは確認する
- 各家庭のルール

<現状と課題>

多くの生徒が学級や部活動などで友達とのつながりや連帯感を感じています。また、80%以上の生徒が、自分には居場所があると感じています。ネット利用については、全学年ともかなりの割合の生徒が使用過多の状態にあり、保護者から見て、ネチケットの面でも不安を感じている状態です。

<今後の取組>

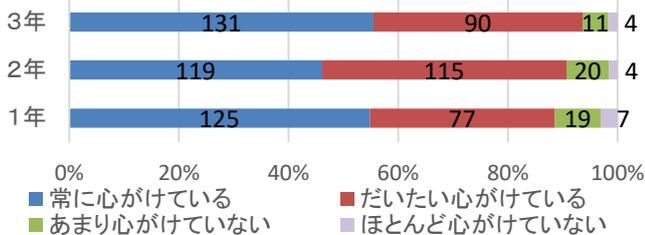
GIGAスクール事業で導入されるタブレットを有効利用し、通信機器を活用できる生徒を育成します。また、グループ学習等で意見交換ツールとしても利用し、気軽に発言できる人間関係を構築していきます。

健康

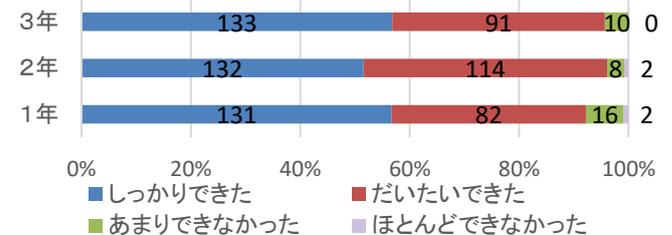
- 担任、部活動顧問等の働きかけや常任委員会の活動を通して、虫歯治療を促進する。
- 「黙働清掃」を通して、我慢・気づき・感謝の心を育てる。

<生徒の姿④>

Q あなたは、ケガをしたり、病気にかかったりしないように健康管理を心がけていますか。



Q 清掃について、よりきれいになるように黙働清掃に取り組みましたか？



<現状と課題>

感染予防のため手洗い、マスクの着用や教室の換気を徹底しています。また、怪我防止のため運動前に十分に準備運動をするように呼びかけています。黙働清掃では、しっかり取り組んでいると感じている生徒が多いですが、今年度は清掃の機会が減ってしまいました。

<今後の取組>

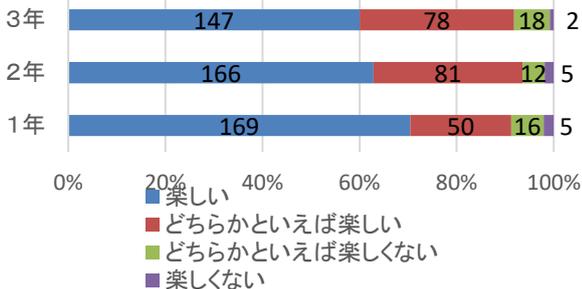
生徒が安全に生活できる環境を維持するためにも、今後も手洗い、マスクの着用や教室の換気を徹底していきます。また、黙働清掃については、少ない機会の中ですが「自分で考えて動ける生徒」を目指すために、自己チェック等で評価するなど、工夫した活動をしていきます。

心

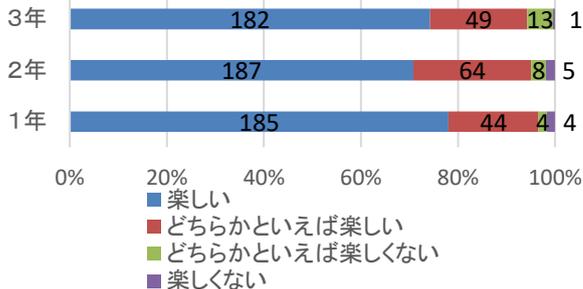
○生徒が主体的に活動する場、安心して意見を言い合える環境をつくる。

<生徒の姿⑤>

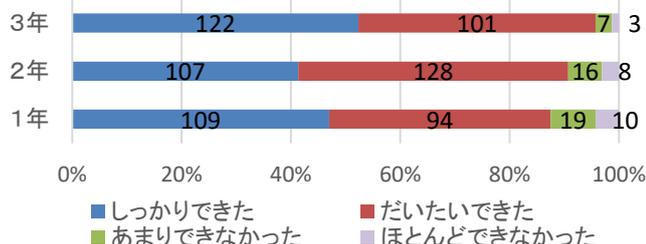
Q 学校は、楽しいですか。



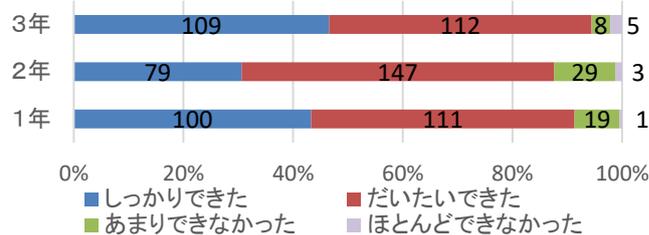
Q みんなで、何かをするのは楽しいですか。



Q 先生に心の窓や教育相談を通して、自分の思いや考えを伝え、聞いてもらうことができましたか？



Q 「今週の目標」や「今月の春中しぐさ」などのマナーを守り、相手の気持ちを理解して接することができましたか？



<現状と課題>

「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」と回答する生徒の数値目標は、それぞれ60%以上、70%以上であり、数値目標を達成できました。今後も、「どちらかといえば楽しい」や「楽しくない」を「楽しい」に変えるような支援を継続して行っていく必要があります。

<今後の取組>

生徒が安心して過ごせる居場所づくりをめざし、教育相談の時間を充実するなど学級経営の工夫を行っていききたいと思います。また、保護者と教員の間の情報交換・情報共有が重要ですので、学校側からの情報発信に努めていきます。また、生徒が主体的に活動できる場を通して、生徒同士の絆づくりを目指します。そして、生徒が「楽しい」とさらに感じる学校にしていきたいと考えています。

進路

○ 地域の人との関わりを密にし、自ら企画して行動する体験的学習を充実する。

1年職業別選択講座



2年SDGs学習と進路学習



3年高校説明会



<現状と課題>

1年生で「職業別選択講座」、2年生で「SDGs学習と進路学習」、3年生で「卒業後の進路・進学先の選択」というように、学年が進むにつれて、徐々に具体的な目標が意識できるよう継続的な進路指導を行っています。また、ご家庭においても家族で積極的に進路について会話をされている様子が伺えます。ただし、感染症対策から地域人材とのふれあい活動がほとんどできず、幅広い知識や経験にふれあうことができなかったことが残念です。学校教育の中では、早くから具体的に決めるのではなく、視野を広げ将来の選択肢を広げるという視点で進路教育を行っています。

<今後の取組>

今後も段階を踏みながら進路指導を進めていきます。特に体験活動は、学校だけでは限界がありますので、今後ともご家庭・地域・企業などのご協力を得ながら、生徒がいろいろな経験・体験をすることで、視野を広めることができるようにしていきたいと考えています。保護者の方と連携しながら、生徒が進路に対して意識を高めるようにしていきたいと考えています。

生徒、保護者、地域、学校が一つになってこそ、よりよい春江中学校が実現します。今後とも、生徒たちの学校生活の様子や本校の教育活動などHPでもお知らせしています。是非、ご覧ください。 <http://www.harue-j.ed.jp>